

# バロックの真珠たち

PEARLS in BAROQUE

グローバルクルーズサロン

2026 9月19日<sup>土</sup>  
14:00～15:30

定員40名

13:30 開場

三つの楽器が語り合う、  
時を越えて響き合う、  
珠玉のバロック室内楽。

会場



霞町音楽堂  
KASUMICHO ONGAKUDO  
東京都港区西麻布4-2-6 B1

Performers

ヴァイオリン 寺神戸 亮

チェンバロ 天野乃里子

ヴィオラ・ダ・ガンバ 折原麻美

- 第一部 グローバル クルーズサロン  
トークイベント「海と音楽」クルーズの旅
- 第二部 ミニコンサート

Program

バッハ

ヴァイオリンとオブリガートチェンバロの  
ためのソナタ第4番 BWV1017

ラモー

クラヴサンコンセール第4番 and more...



チケット 無料 (ご招待)

主催

GLOBAL  
Your Bureau Since 1966

後援

Explora  
JOURNEYS

協力

一般社団法人  
日本バッハ協会

申し込み窓口

(株)グローバル

TEL 03-4500-6566

cruise@gyb.co.jp 月～金曜 / 10:00～18:00(土日・祝日休み)

予約はコチラ▼



# バロックの真珠たち

— PEARLS in BAROQUE —

## バロック室内楽の愉しみ

17世紀に生まれたオペラは音楽を一部特権階級のものからもう少し広い階層の聴衆へと解放しつつありました。教会では宗教音楽が、宮廷やオペラ劇場では貴族と一部中流階級のために、一流の作曲家たちが競って素晴らしい音楽を披露していました。その副産物としてより小さい編成での室内楽も宮廷や教会のミサの合間などに演奏され、楽しめるようになりました。クーブランは毎日曜日、王の御前で室内楽を演奏しましたし、バッハもケーテン公のために室内楽作品を作曲しました。オルガンのためのソナタは当然教会で演奏するためのものですが、3つの楽器のための室内楽作品と見ることもできます。フランスと北ドイツ、全く違った文化圏ですが、当時北ドイツにはナントの勅令によってカトリック国フランスから逃れてきたユグノー（新教徒＝プロテスタント）達のおかげでフランス文化の影響が色濃くありました。意外な繋がりを持つ2つの地域で活躍した当時随一の作曲家達の珠玉の室内楽作品を、バロック時代を代表する花形楽器、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロという三つの楽器による最小編成でお楽しみください。

## Pearls in Baroque ～バロックの真珠たち

オランダ在住のチェンバロ奏者、天野乃里子主宰のオリジナル楽器による室内楽団。バッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディなど著名な作曲家の協奏曲や室内楽作品と共に、特にオランダではいまだに注目度の低いフランス・バロック音楽に焦点を当て、クーブランの「諸国の人々」「リュリ賛」「コレリ賛」「王宮のコンセル」など演奏機会の少ない作品の紹介にも力を入れている。オランダ国内や近隣の古楽演奏のベテランと、将来性豊かな才能ある若手が共演し、幅広いジェネレーションが刺激し合える演奏の場とすることもグループのコンセプトとしている。アムステルダム・コンセルトヘボウ室内楽ホールで年3回の定期公演をするほか、国内外で活動の場を広げつつある。東京倶楽部の助成金を受け、昨年末には初の日本公演を東京、京都で開催した。

芸術監督：天野乃里子 / 音楽監督：寺神戸亮

## 寺神戸 亮 / ヴァイオリン

ボリビア生まれ。久保田良作氏に師事。桐朋学園大学在学中に日本音楽コンクール第3位入賞、同大学を首席で卒業すると同時に、＜東京フィルハーモニー交響楽団＞にコンサートマスターとして入団。その後バリオード楽器による演奏を学ぶためオランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学、シギスヴァルト・クイケンのもと研鑽を積んだ。在学中から演奏活動を始め＜レザール・フロリサン＞、＜ラ・プティット・バンド＞などヨーロッパを代表する古楽オーケストラのコンサートマスターを務めた。現在＜バッハ・コレギウム・ジャパン＞コンサートマスター。ソリストとしてもこれらのグループ他と協奏曲を共演。指揮者としてはラモーやモーツァルトなど、フランス・バロックとモーツァルトのオペラを中心に上演し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。現在、デン・ハーグ王立音楽院、ブリュッセル王立音楽院、桐朋学園大学で後進の指導に当たる。ブリュッセル在住。

## 天野乃里子 / チェンバロ

桐朋学園音楽科ピアノ科、慶應義塾大学文学部美学美術史学科卒。その後、オランダヘチェンバロの勉強の為留学。ハーグ王立音楽院を経て、アムステルダム音楽院、ケルン音楽大学を卒業。ソロ、室内楽の分野で、欧州と日本と両方で活躍。2019年より『バロックの真珠たち』室内楽団の芸術監督として、コンセルトヘボウを中心に年間バロックシリーズを開催し、最もオーセンティックな奏法を追求しつつ、バロックダンスも取り入れ、視覚的にも興味深いステージを創り大好評を得ている。

## 折原麻美 / ヴィオラ・ダ・ガンバ

国立音楽大学音楽文化デザイン学科(音楽学)卒、同時に有馬賞受賞。在学中ヴィオラ・ダ・ガンバを始め、卒業後渡欧。ブリュッセル王立音楽院古楽器科にて学部、修士、研究科を優秀賞付きで修了。ヨーロッパ各地における音楽祭出演他、数々の招聘演奏を行う。帰国後は、ルネサンス～バロック音楽を中心に、ジャンルを越えて楽器の魅力を発信。墨田区主催2019年度「演奏家の船出応援コンサート」グランプリ(デュオ・ルーリー)。アイゼナハ音楽院講師。



## サロンホールから、 夜はBarへと顔を変える特別な空間

サロンホールでは演奏者の吐息さえ聞こえるほど間近で聴く生演奏を満喫し、Barではこだわりのスピーカーから流れる音楽と、ヴィンテージオーディオの調べに酔いしれながら、極上のお酒を堪能できます。非日常の世界へ誘う、唯一無二の空間を体験しに、ぜひお越しください。



### 公式サイト

お問い合わせ、  
詳細情報は  
コチラから

住所  
〒106-0031  
東京都港区西麻布4-2-6 B1  
お問い合わせ  
**03-6427-2771**

